



つながり

学校教育目標：生き生きと学び、主体的に活動する田野々の子

学校 Tel 27-0030 <文責：金子>

2026年3月9日 No. 15 (全5P)

2025年度 素敵な出会い、上級生からの学びを伝統に!

月日の流れは本当に早いもので、いよいよ3月。今の学年で過ごす時間も残りわずかとなりました。振り返れば、4月のドキドキしていた表情から一変し、どの学年も自分たちで考え、行動できる場面がぐんと増えてきました。特に6年生は小学校課程の修了を目指して、自分のことはもとより、委員会活動やクラブ活動の引継ぎを下級生に行ったり、休み時間には下級生を楽しませる遊びを発案したりと、最後まで忙しさの中にも下級生のことを思って行動をしてくれています。そして、学習面でも毎日こつこつ自分の課題に向き合って頑張っている人はどんどん伸びてきています。そんな6年生の姿を同じ教室で見ている5年生も最高学年としての自覚が高まっているように思います。上級生の姿から学ぶことをこれからも伝統にしていきたいです。



朝マラソンにて～
みんな、真剣です!



高学年発案の全校遊び
みんな、いい顔です!



委員会の仕事をていねいに
3年生に引き継ぎます(*^-へ*)



お知らせ

3月5日～11日の間、山崎 やまさき 綾成 りょうせいさんが校務の仕事の実習においててきています。

次ページへ

3学期を振り返って

たくさんの方々とのふれあいの中で、人の温かさを感じたり、自分に自信が持てたり、、、成長を感じます。

茶道教室

1月19日に6年生は、茶道教室を楽しみました。昨年から警察署の田村ひろみさんをお迎えし、伝統芸能に親しむことやおもてなしの心を育む目的で教室を開いています。田村さんから、抹茶の点て方を習った後、保護者や地域の方にお茶を点て、和菓子をいただきながら感謝の気持ちを伝えました。とても和やかな時間となりました。



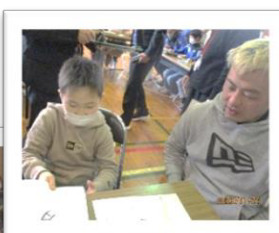
特活参観日

1月24日は、特活参観日が行われました。この特別活動(学級会)については、四万十町内の小中学校が共通して力を入れて取り組んでいる学習です。子どもたちの生活の中での課題をどのように解決していくか、それぞれが意見を出しながら、折り合いをつけながら、取組を決定していきます。その様子を保護者のみなさんに見ていただきました。



PTA 講演会

1月24日の特活授業後は、高知新聞「きんこん土佐日記」でおなじみの漫画家、村岡マサヒロさんをお招きし、「親子マンガ教室」を開きました。今年のPTA共励会時の講演を聞いた保護者からの要望で、念願の村岡さんをおよびすることができました。この日は、体育館に親子で座り、村岡さんのお話を聴いた後、村岡さんからのお題として、田野々の「夕」からイメージを膨らませたマンガを描くことになりました。子どもも保護者もお互いに、描き上げたマンガを見て、にっこり(*^-^*)穏やかで楽しいひと時となりました。保護者からの感想も、「こんな、楽しい時間が持ててよかった」と高評価でした。来年も親子が触れ合える時間が持てればと思います。



次ページへ

防災学習

1月29日は、5,6年生が防災学習の一環として、台湾の方や香川大学の先生、振興局、大正地域の方たちと、台湾の華山村で栽培されているコーヒー豆を使った「土石流コーヒー」を一緒に作りました。台湾の華山村もこの大正地域の環境と似て、災害時には土石流の発生が高い地域であるということから、防災学習や避難訓練を実施すると同様に、地域の活性化を目指して、「土石流コーヒー」を生み出したということです。コーヒーは子どもたちの希望で、ココアとプリンに変更し、土石流を表現したデザートができあがりました。一杯の土石流コーヒーの中にもいろんな人々の思いが入っていることを感じながら、おいしくいただきました。その後、大正地域の活性化のために、チームでメニューを発案したり、発表したりとみんなで交流を図りました。防災学習を通して、国が違っても、言葉が違っても、自分の地域を思う気持ちと人と人のつながりを大切にしていることは自分たちと同じだということを感じていました。



もちつき

同日、1,2,5年生は、「いごはち」の方や秋田やよいさんたちにご協力をいただきながら、もちつきを行いました。前日には、5年生がもち米の選別作業や洗米を行い、当日は蒸した後、1,2年生も一緒に、おもちをついたり、丸めたりの作業を行いました。今年はさつま芋をいれて、芋もちも作り、子どもたちは感謝しながら、おいしいおもちをいただいていた。地域の方たちのご協力で、毎年、もちつき体験ができています。感謝申し上げます。



一日体験入学

2月9日は、「認定こども園たのの」の園児たちの一日体験入学が行われ、1年生、5年生が交流を行いました。1年生は先輩として、学校生活のことを伝えたり、一緒に遊んだりし、5年生は、来年度の6年生として、やさしく(5年生の願い)をテーマに、声掛けやエスコートを頑張っていました。来年度の入学生は5名。入学が楽しみです!



生活科・総合的な学習発表会

2月14日は生活科・総合的な学習の参観日でした。これまでの学習の成果を保護者や地域の方たちの前で、一生懸命発表する姿が印象的でした。生活科では、活動や体験を通して自分自身のよさに気づき、豊かに表現する目標があります。今回1年生は、一人ひとりが人前でも恥ずかしがらずに自分が成長したところを表現できていました。振り返りの中で、上級生たちが「1人で発表するのはドキドキするけど、恥ずかしがらず、みんなとても頑張っていたと思う。」と感想をよせていました。総合的な学習は、課題を持ち、その課題を解決していくために、探究活動を展開していきます。参観日には、その探究の成果を発表しました。2年生は本来、生活科の学習ですが、来年度を見越した総合的な学習のような取組発表ができていました。そして、3年生以上は発表の工夫を凝らし、クイズを発表の途中に入れたり、劇風にして、動作化したりと誰もが分かりやすいような表現ができていました。来年度も子どもたちが何を課題にし、解決策を考え、実践していくか、探究学習はまだまだ続きます!楽しみにしててください。



読み語りミニ集会

今年度も毎週火曜日に、読み語りボランティアの方たちに読み語りをしていただきました。子どもたちは火曜日をとても楽しみにしていて、聴き入っている姿が見られます。子どもたちは本の世界を楽しみ、心も豊かになっているように思います。この集会では、感謝の気持ちをこめて、読み語りボランティアさんにお礼のお手紙を渡しました。来年度もよろしくお願いいたします。



お別れ遠足（浦ノ内遊具公園・芝生広場）

子どもたちが楽しみにしていた遠足の日、3月6日がやってきました。この日までに、5年生が中心になって、6年生とみんなの思い出に残る遠足になるようにと、セレモニーを準備してくれていました。一緒に遊んだり、丸くなってみんなでお弁当を食べたりと和やかに温かい時間となりました。その後は、巨大な白い山のようなトランポリン?で飛ぶこと、飛ぶこと!ずっと、飛び跳ねている人がいました。大人は「歩きは OK!」だったので、子どもに励まされながら、先生たちも挑戦しましたが、すぐに転んでしまいました。やわらかく揺れる地面を歩くのは難しい。飛び跳ねたかったあ〜。それからは、集合写真を撮り、宝探しをして、遠足が終わりました。ごみ拾いも行い、来た時よりきれいにして帰りました。

この日の天気は午後より雨模様でしたが、子どもたちが公園で過ごしている間は、あたたかくすごしやすいお天気でした! きっと、日頃の行いがよかったからでしょう!! バスで帰校中、もう少しで、学校に到着というところで雷雨になり、保護者のみなさんにはご心配をおかけしました。お迎え等、ご協力をいただき、ありがとうございました。安全に終わることができ、子どもたちにとっても教職員にとっても思い出に残る遠足になりました。

